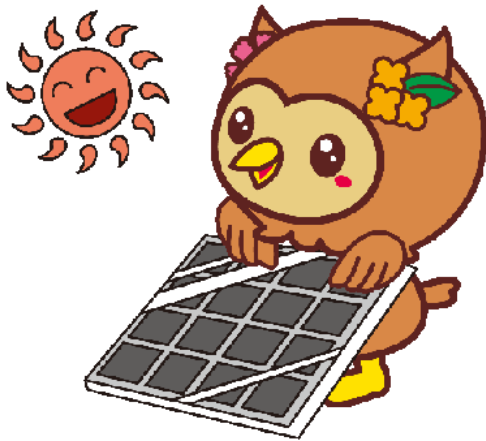


太陽光発電が非常時に役立った！

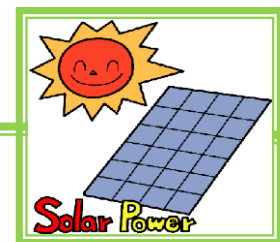


2018年は災害の年と言われるほど、地震、豪雨、台風と次々に災害が日本国内を襲ってきました。記憶に新しいところでは、10月の台風24号。静岡県を中心に大規模停電となり、その中で、袋井市内においても「数日間の停電」になりました。太陽光と蓄電池が停電時に役立ったという情報をまとめてみましたので、みなさまも参考にしてください！



太陽光発電は停電時でも使える

2018年10月に静岡県内延べ約78.3万戸、停電日数約6日と大きな停電被害を及ぼした台風24号。袋井市内でも36,800戸が数日間の停電になりました。太陽光発電を設置していたご家庭で、『停電していても家電が使えた！』というお話を伺い調べてみました。



太陽光に感謝！

先日の台風24号の停電時、太陽光を自立連系にして、専用のコンセントにさした電気だけ使えました。停電時でも昼間は、冷蔵庫もドライヤーも電子レンジも全部使え、いつもどおりの生活ができました！（30代主婦）

太陽光設置時期：平成26年度

出力電力：5.4kw

■太陽光発電には災害・停電時に非常用電源として使用できる！

太陽光発電システムは、災害などの停電時に晴れて太陽光が出ている間は、パワコン（パワーコンディショナー）の自立運転機能を使うことによって最大1,500Wの電力を利用することができます。※パワコンの側面に「非常用のコンセント」がついていて、そこから電気を取り出すことができます。

1. 太陽光発電ブレーカーを【OFF】にする
2. パワコンの運転スイッチ【ON】の状態から、一度【OFF】にし、再度【ON】にする
3. 「自立」の表示が点灯していることを確認する
4. 停電用コンセントに安全の注意事項を守りプラグをさす



パワコン



パワコン側面に
ある停電用
コンセント

※操作方法に関しては、メーカーによって異なりますので、必ず各メーカーの取扱説明書をご確認ください。

■太陽光の非常用電源は最大1,500Wまで使用できる！

非常時にはAC100V 最大合計1,500Wの電気を使用することができます。停電時にも使用したい家電類の消費電力をみてみましょう。

▼家電製品の消費電力▼

電化製品	消費電力
冷蔵庫	100～300W
照明（LED） （蛍光灯）	約50W 約120W
テレビ	100～500W
携帯電話の充電	約5W
ノートパソコン	50～100W

延長コードと延長タップ

非常用コンセントはパワコンについていますが、パワコンは分電盤（ブレーカー）の傍に設置されます。分電盤はたいいてい、玄関か脱衣所などに設置されていますので、パワコンも玄関や脱衣所に設置されることが多いです。電気を使う場所は居間・台所・ダイニングなどが多いと思いますので、非常時に太陽光発電の電気を使おうと思ったら、電源プラグを使う場所まで持ってくる必要があります。非常時に備えて、延長コードやコンセントの差込口が多い延長タップを用意しておくといでしょう♪



家庭用蓄電池があれば・・・

太陽光発電に蓄電池を組み合わせて設置すると、太陽光発電で作った電気を蓄電池に貯め、家庭で使用すれば、電力会社から購入する電力量を減らすことができます。太陽光発電で作った電気を使用することで、CO2の排出量も減らすことができます！

■蓄電システムと太陽光発電、一緒に使った方がおトク！？

蓄電池と太陽光発電システムを連携させることで、電気代の節約に期待できます。たとえば、昼間は太陽光パネルで発電した電気を使用し、余った電気は蓄電池に充電。夜は蓄電池に充電した電気を使って、足りない分だけを電力会社から買い、購入電力量を抑えます。



■地震や風水害の影響で電力の供給が止まってもライフラインの確保ができる！

一般家庭において蓄電池が役立つのは「停電時」。今回の台風 24 号の時のように電力供給が止まっても、家庭用蓄電池に貯めておいた電力で最低限のライフラインを確保することができます。太陽光発電と組み合わせることで、日中は太陽光発電分の電力を使い、余った分を夜間のために貯めておくことが可能になり、長期的な停電に備えることができます。万一の備えだけでなく、毎日の暮らしでも役立つ蓄電池と太陽光発電を組み合わせることで、電力の「自給自足」が可能になります。

★袋井市では、地球温暖化防止、エネルギーの有効利用や資源の再利用促進を図るため「新エネルギー機器導入促進奨励金」の交付を行っています。本年度から「家庭用蓄電池」も対象機器になり、昨年同様「太陽光発電システム」も対象機器です。

◆家庭用蓄電池（補助金：購入額の 1/2 以内、上限6万円）

電気を蓄えておき、必要な時に必要な分だけ使うことができる蓄電池。近年の防災意識の高まりや省エネ推進の動きから、家庭用蓄電池が注目を集めています。太陽光発電と相性がよく、組み合わせることでメリットが増えるため、生活に必要な電力を安定的に供給できます。

◆太陽光発電システム（補助金：購入額の 1/2 以内、1.5 万円/kw、上限6万円）

太陽光発電は屋根に太陽電池を取り付け、太陽の光で電気をつくります。つくった電気は実際にご家庭で使用して、使いきれずに余った電気は電力会社が買い取ってくれます。災害で停電になった時でも太陽が照っていれば電気を使うことができる、環境にやさしく、経済的にもうれしいシステムです。

これ以外にも新エネルギー機器導入促進奨励金の対象になる機器はたくさんあります。是非、【環境政策課】にお問い合わせください。市のホームページにも掲載しています！